

## 教育民生常任委員会 所管事務調査 報告書

---

### 1 開催日時

令和7年5月9日（金曜日）午前9時54分～午前11時12分

---

### 2 開催場所

富谷市役所302会議室

---

### 3 出席委員（6名）

委員長	浅野直子	副委員長	伊藤嘉樹
委員	須藤義	委員	荒谷敏
委員	長谷川る美	委員	出川博一

---

### 4 欠席委員（なし）

---

### 5 説明のため出席した者（7名）

保健福祉部長	高橋加代	保健福祉次長	関谷奈保子
長寿福祉課長	横田善和	保健福祉総合支援センター所長	大谷江里子
長寿福祉課長補佐	中津川俊紀	健康推進課長	伊藤潤哉
健康推進課長補佐	千葉綾香		

---

### 6 事務局職員出席者（1名）

副参事 相澤美和

---

### 7 調査事項

高齢者健康施策について

- ・健康寿命の延伸について
- ・相談体制の充実強化について

（令和7年2月13日付け教育民生常任委員会 所管事務調査報告書に対する検討状況について）

---

## 8 調査報告

近隣自治体でも健康ポイント事業の展開があるが、本市は県のアプリを導入し活用する方向で進められる。社人研の人口推計では2050年には75歳以上が2.2倍になる見込みであることから、実態把握のアンケート調査を実施する方向である。

健康ポイント事業のウォーキングコースに富谷市総合運動公園などを視野に検討し、ウォークラリーなども連携を図りながら市民の関心度や参加しやすい環境は必要との意見。また、地区健康教室などは、地域の健康推進員により格差が生まれている。担当部署の連携と推進員研修など必要である。

若い世代への健康推進も商業施設を利用した取り組みや参加できるメニューの拡充を検討し、また、高齢者の口腔ケアの重要性、健診向上への取り組みや本市において特に羅漢が多い糖尿病の予防教室の開催、何よりも動く習慣を身に付ける健康推進メニューを重視していることが分かった。

今回、総まとめの方向からの進捗状況を伺うにあたり、新事業への取り組みや継続事業の向上と、如何に市民の健康延伸に向けた意識改革や健康ポイント制度のような楽しみながら参加、様々な場面での相談体制の充実が図られるか等、委員会からも提案出来た部分もあり、今後も注視していきたいと思える調査となった。

安心して元気で暮らせる健康家族、健康づくり独自の施策も期待を求めます。

以 上

---

令和7年5月9日

委員長 浅野直子

---